
大和くん生徒会。

氷雨水夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大和くん生徒会。

【Nコード】

N2892W

【作者名】

氷雨水夜

【あらすじ】

菊風学園の生徒会に集った奴らはとても個性的。しかも全員の名字が大和くん。クール会長に熱血副会長、小学生体系な書記に性格の違う双子会計。彼らは毎日を楽しく愉快に学園を良くしようと奔走する。そしてそんな彼らの行き着く未来は——？

一回目：大和くん生徒会（前書き）

この作品は水夜が血迷った考えから生まれマシタ。生暖かい目で見
てやって下さい。

一回目：大和くん生徒会

こんにちは、ボクは大和四夜^{やまじよつや}です。

とってもフリーダムな菊風学園の生徒会の書記を努めています。
念のために言っておきますが、ボクは小学生でも無いし飛び級でもありませんから！身長が低いだけです！

声高いつて言われますけどこれでも声変わり来たんですよ？

……信じられないって顔しないで下さい……。本当にこの学年の最高学年の三年生にして生徒会の役員なんです。……正直、傷付きますよ……。

さて、この菊風学園の生徒会。ボクたちの世代の生徒会はこれまでの歴代生徒会の中でも異色な生徒会と言われています。なぜなら、全員同じ名字だからです。あ、兄弟じゃないんですよ？赤の他人で、偶然に同じ名字の生徒会が出来ちゃったんです。

最初に自己紹介した通りに、ボクは大和四夜と言う名前です。つまり、他のメンバーは大和という名字と言うことです。

……みんな、キャラが濃いんですよ……、ボクが地味なだけなのかなあ……。

では、簡単にボク以外の生徒会役員を説明しますね。

まずは、会計は東^{あずま}くんと西^{さいか}嘉くん。この二人は双子なんですが、性格は全く違うんですよ。

東くんは目立ちたがりでリーダー気質です。何かと会計以外の仕事で出しゃばろうとします。むしろ影の会長を自称するくらいです。そんな東くんのストッパーとして西嘉くんがいます。下手な関西弁で話すのが特徴です。大阪府であんな口調で喋ったら怒られるくらいの偽物な関西弁が特徴です。……え？毒舌じゃないかって？別に西嘉くんに恨みは持ってませんよ？……だって、下手な関西弁で喋ることは事実ですから。

この二人は何かとケンカしていますが、生徒会の仕事は協力してやってくれてるので、ケンカするほど仲がいいのかもしれない。

次に、副会長の熱海^{あつみ}くん。この生徒会や、学園のムードメーカー的存在です。

……運動好き過ぎて勉強を怠って卒業できるか怪しいらしいです。いわゆる脳みそが筋肉で出来てるんじゃないかと思えるくらいの脳筋野郎ですよ。正直暑苦しいです。夏場に熱海くんといると部屋の温度が上がってる気がします。いえ、むしろ温度が上がってます。それくらい暑苦しいです。

そして、我らが生徒会役員を束ね、生徒たちをも纏める会長、雪路^{きじ}くん。容姿端麗、頭脳明晰、人当たりのよい性格という完璧な会長です。……一般生徒からの感想では。

熱海くんとは正反对で、冷静沈着です。季節で例えたら、熱海くんが夏で雪路くんは冬でしょう。いつもの確な指示を出す彼はこの生徒会の大黒柱でしょう。

ただ、時々DSになるのはやめてほしいです。怖いです。DSだつて知るのはい部の生徒のみなので、多くの生徒からは人気がありません。こんな会長の本心を知ったら、みんなどんな反応するんでしょうか。

「……生徒会役員の日誌は、その日のおのおのの職務を書くものとして渡したはずだが？少なくとも日記ではないのだから」

「……！！」

会長が降臨なされた……。

「もしかして……内容を読みましたか？」

「当然だ。……四夜、そこへ直れ」

「ひいひいっ！ごめんなさいっ！！」

「綺麗な土下座だな。……ちつ、謝らなかつたら女装させ

て【私は卑しい愚民です】ってプラカード持たせて校内一週させてやろうと思ったのに」

……小さく恐ろしいこと言ってますか!?

「俺の説明短いな!。これじゃ地味じゃないか」

「……パチモンの関西弁やと……。その言い方は無いんとちゃうか……」

「充分偽物な関西弁だと思うけどな」

「なんやと!今日こそはその口きけんようにしたるわ!」

あ、東くん、西嘉くん。さっそくケンカですか。

「あつはつは、なんか騒がしいねえ。みんな面白そうで何よりだ!」

……熱海くん。ああ、この部屋の温度が5度くらい上がった気がする。

「……しかし、四夜は毒舌だよなあ。わしゃあ、脳筋って言うほどスポ魂な馬鹿なつもりはねえぞ?」

「……そうですか?」

「今の間が気になるが……、とりあえずテニスをやらねえか?今のわしはテニスがやりたい所でな!」

いつもスポーツやりたいって言ってるそれが運動大好き脳筋野郎と言わずしてなんて言うんですか。

「……ふう、お前ら、席につけ」

「雪路ー、取りまとめるのはヒーローの俺の役目だろー」

「東は少しは黙りい。会長の雪ちゃんが進んで当然やろ」

「あとでみんなでテニスしような!」

「どうしてそうなった」

「……あ、四夜はその日誌に書いたことを訂正しておけよ?変えないと女装させて【私は卑しい愚民です】ってプラカード持たせて校内一週させ、なおかつ何を話すにもネコ語だからな」

「なんか追加されてる!」

「まあ、こんなところで、本日の菊風学園生徒会定例会議を始める」

今日も、こんなドタバタ生徒会が、始まります。

……ボクは、卒業までにこの生徒会で体力面でも精神面でも耐えられるでしょうか……。

一回目：大和くん生徒会（後書き）

ギャグとして面白く書けたらいいなと思っている作品です。
他の連載モノより遅いテンポで更新する予定デスヨ。
牛歩的更新でスミマセンorz

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2892w/>

大和くん生徒会。

2011年10月9日15時55分発行